

特集2

平成28年熊本地震復興支援活動

1. 総括

「平成28年（2016年）熊本地震」の発生後、ボランティアセンターではこれまで伝統的に築いてきた学生を中心とした活動、被害を受けた方に継続的に寄り添うという視点を大切にしながら、どのような支援ができるかを探ってきた。これまで取り組んだものは、「募金活動」「大学ボランティアセンターの立ち上げ支援」「障がいのある方への支援」である。震災から間もない時期に、JUNKO Associationからボランティア系のサークルが呼びかけ人になり、複数のボランティアサークルとボランティアセンターの学生メンバーが中心となって、「SET for Kyushu (Student Emergency Team for Kyushu)」(明治学院大学学生による九州のための緊急支援チーム)が結成され、キャンパスの最寄り駅(戸塚駅)、通学に使用する川崎駅周辺等で、募金を呼びかけた。それと並行して、4月から11月までボランティアセンターとその学生たちはキャンパス内で、緊急支援募金や震災によって大きな被害を受けた熊本のまちの再生支援などに取り組んだ。集められた支援金は、日本赤十字社および、くまもと新町古町の再生活動への寄付として贈呈した。

5月、6月には本学教職員が、9月にはそれに学生を加えて、大学を避難所として長期にわたり開放した熊本学園大学を訪問し、災害支援における大学ボランティアセンターの意義と役割、組織体制の構築、地域との関係構築や教育における意味などについて、両大学の教職員、学生間で意見交換をおこなった。特に東日本大震災の支援に長期にわたって活動する本学学生と熊本地震で継続的に活動する熊本学園大学の学生が直面する課題は共通する点も多く、その対応について知恵を出し合う場面もあり、学生による経験交流の意義が確認された。同大学では6月にボランティアセンター準備室が発足し、2017年1月に正式にボランティアセンターが設立され、現在でも仮設住宅でのサロン活動や子ども支援の活動に継続的に取り組んでいる。本学は新潟県中越地震や東日本大震災における支援経験などを有しており、被災した大学が学生とともに支援活動を立ち上げるための協力をしていくことも、本学独自の役割であるといえる。

この支援活動を通じて、本センターは多くのことを学ぶこととなった。特に、迅速な判断のもと大学を避難所として開放した熊本学園大学、くまもと障害者労働センターや被災地障害者センターくまもとの震災後の働きからは、災害時の大学の使命や役割について問題提起を受けた。本学においても、災害に備えた防災訓練が2017年度に予定されている。いざというときに、いち早く被災者から支援者になれるように、熊本の経験を受け継いだ取り組みを今後も継続していきたい。

(ボランティアコーディネーター 市川享子)

2. 平成28年熊本地震 大学およびボランティアセンターの取り組み

2016年 4/14(木)	21:26 熊本県熊本地方で地震(震度7)発生
4/15(金)	お見舞い文(学長名)発表

4/16 (土)	1:25 熊本県熊本地方で地震(震度7)発生 学生から「何かできることはないか」「募金活動をしたい」と相談が相次ぐ ボランティアセンターとしての対応を検討
4/21 (木) ~4/28 (木)	学内募金を開始(募金箱を設置) 義援金送付先:日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」 送金額:140,399円
4/25 (月)、 4/27 (水) ~4/30 (土)	日本赤十字社本社での「熊本地震」義援金窓口受付ボランティアに参加(学生8名、 教職員2名)
4/26 (火)	「熊本地震(大分)震災ボランティアミーティング~いま、できることは何か?~」 @東京・オリンピックセンター に出席(学生4名、教職員2名)
4/27 (水)	昼休み)第1回緊急学生ミーティング開催(学生15名、教職員4名) メーリングリスト「MG熊本地震ボランティア」発足
5/10 (火) ~5/13 (金)	学生たちがサークルの枠を超えJR戸塚駅で街頭募金活動を実施(第1回)(31名) 「学生による熊本緊急支援チーム(仮)」 義援金送付先:日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」 送金額:264,000円
5/11 (水)	昼休み)第2回緊急学生ミーティング開催
5/19 (木)	学生による熊本緊急支援チームの名称が決定 「SET for Kyushu(明治学院大学学生による九州のための緊急支援チーム)」 メンバー:JUNKO Association、ほけっと、STUDY FOR TWO、ハビタットMGU、 体育会ラクロス部男子、ボランティアセンター 学生メンバー
5/20 (金) ~5/31 (火)	「明学レッドクロス」が昼休みに学内募金活動を実施(41名) 白金:5/20、5/24、5/27、5/31 横浜:5/24、5/31 義援金送付先:日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」 送金額:70,803円
5/25 (水)	昼休み)「熊本地震、明学生としての関わりを考える:緊急支援活動に参加した学生から の報告をもとに」開催(白金・横浜キャンパスをつないでウェブ会議)
5/28 (土)	大学祭「戸塚まつり」 ・チャリティライブ会場で明学レッドクロスが募金を呼びかけ(2名) 義援金送付先:日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」 送金額:11,176円 ・キッチンカーからのご寄付、キャンパス内設置の募金箱 義援金送付先:日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」 送金額:26,515円
5/29 (日) ~5/31 (火)	教職員3名が熊本を訪問(第1回) 熊本学園大学、西原村、社会福祉協議会災害ボランティアセンター、 災害支援ボランティア会議「火の国会議」、グリーンコープくまもと

6/13 (月) ～6/15 (水)、 6/17 (金)	「SET for Kyushu」が JR 戸塚駅・JR 川崎駅にて街頭募金活動を実施 (第 2 回) (26 名) 義援金送付先: 日本赤十字社「平成 28 年熊本地震災害義援金」 送金額: 106,694 円
6/17 (金) ～6/18 (土)	教職員 2 名が熊本を訪問 (第 2 回) 益城町、よかましきハウス、くまもと障害者労働センター (おれんじ村)、 熊本学園大学、阿蘇 YMCA、南阿蘇ケアサービス、阿蘇大橋周辺、 益城町保健福祉センター内 カフェ、西原村河原小学校避難所
7/7 (木)	「社会福祉法人くまもと障害者労働センター」が製造する「くまモンクッキー」を大 学生協にて販売開始
7/11 (月)、 7/14 (木) ～7/15 (金)	「SET for Kyushu」が JR 戸塚駅にて街頭募金活動を実施 (第 3 回) (10 名) 義援金送付先: 日本赤十字社「平成 28 年熊本地震災害義援金」 送金額: 27,591 円
8 月	オープンキャンパス (横浜、白金)「ボランティアカフェ」で「くまモンクッキー」を ブース来場者におもてなし
9/16 (金) ～9/18 (日)	学生 6 名と教職員 2 名が熊本を訪問 熊本学園大学 (ワークショップ、ボランティアセンター立ち上げ支援)、 旧中村病院、ジェーンズ邸、くまもと障害者労働センター (おれんじ村)、 被災地障害者センターくまもと、益城町、ユニットハウス村、おひさまカフェ
10/3 (月)	CSV フォーラム「More Impact Japan 2016」-熊本地震から学ぶ、企業と NPO の社 会的インパクト協働のあり方-@白金キャンパス (特定非営利活動法人ジャパン・プラ ットフォーム主催) 学生 5 名参加
10/11 (火)、 10/13 (木)	「学生による熊本復興支援報告会」11 日@白金キャンパス、13 日@横浜キャンパス
10/20 (木)	「くまモンクッキー」小サイズの販売開始
10/23 (日)	NHK「明日へ・復興サポート がんばっぺ!熊本～東北からのメッセージ～」放送 学生 2 名がゲスト出演
11/2 (水)、 11/3 (木・祝)	大学祭「白金祭」で熊本地震復興支援として「くまモンクッキー」を販売 (8 名)
11/12 (土)	明治学院礼拝堂献堂 100 周年記念礼拝にて、学生が「くまもと新町古町復興プロジェ クト」への募金呼びかけ活動 学生 3 名参加
12/5 (月)	「くまもと新町古町復興プロジェクト」への支援金贈呈 @白金キャンパス 記念館 学生 2 名参加 ・明治学院礼拝堂献堂 100 周年記念礼拝での募金総額 169,229 円 ・記念礼拝のお祝い金 20,000 円、白金祭のクッキー売上利益 7,780 円 計 197,009 円を支援金として贈呈

3. トピックを写真で振り返る

4/27 (水)

明治学院大学のサークルや体育会、ボランティアセンターの学生メンバーなどから、熊本のために何かできることはないか、と声があがり、ボランティアセンターのコーディネーターや職員も加わり、第1回目の緊急ミーティングが開催された。

白金・横浜両キャンパスのボランティアセンターをウェブカメラでつないでのミーティングには、昼休みの短い時間にも関わらず15名の学生が集まった。

なかには今回初めてボランティアセンターを訪れた学生もあり、初めて出会う学生同士でもあったので、自己紹介からはじめ、熊本のために何ができるとするか、それぞれから話があった。

まずはメーリングリストを立ち上げ、大学近辺でできる活動から探していこう、ということが決まった。



5/10 (火) ~

学生有志による緊急チームは「SET for Kyushu (Student Emergency Team for Kyushu)」と名づけられた。現地に行けなくてもできる活動として、授業後の夕方から横浜キャンパス近くのJR戸塚駅、川崎駅周辺で募金呼びかけ活動を実施した。

計11日間で40万円ほどが集められ、日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」へ送付した。

5/20 (金) ~

学内では「明学レッドクロス」が昼休み時間を利用して白金・横浜両キャンパスで学生や教職員に向けて募金呼びかけ活動をおこなった。大学祭「戸塚まつり」でもチャリティライブ会場で呼びかけ活動を実施。約10万円を日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」へ送付した。



①5/29 (日) ~5/31 (火)、②6/17 (金) ~6/18 (土)

教職員5名が熊本を2回訪問。現地の状況調査・情報収集とともに、どのような支援ができるのか可能性を模索した。

熊本学園大学では、発災後の大学の状況を伺った。もともと自治体の「指定避難所(被災者が一定期間を過ごすことを想定)」に指定はされていなかったが、2回目の本震で学内は多くの地域住民であふれたという。その中には障がいのある方、

高齢の方も多く、館内のホールを彼らのスペースとして開放した。大学施設を開放することに関し議論らしい議論はしなかったが、「いま目の前にいる被災者に向き合おう」との方針のもと、避難所が開設されたと伺った。

学生たちは自主的に大学にやってきて、炊き出しや重度の障がいのある方の体位転換（2時間おき）など体力のいる手伝いを率先して担ってくれた。4日目に大学が学内ポータルサイトで学生にボランティア登録を呼びかけたところ、300人が登録。障がいのある方が隣のスポーツジムにシャワーに行く際の同行などのボランティアをおこなったそうである。

6月、本学教職員による2回目の訪問では熊本学園大学の学生ボランティアの拠点作りに向けて意見交換をした。学生リーダーを育成し、学生とともにニーズを発見し、活動を生み出していく意義、地域とのパートナーシップをどのように築いていくか、活動の助成金など、本学のノウハウを共有した。

また、くまもと障害者労働センターを訪問。震災の影響で販路が縮小、クッキー等の生産が困難になり、障がいのある方たちの生活の基盤が揺るがされていることを知り、大学でのクッキー販売の相談があった。これを受けて7月より明治学院生協での「くまモンクッキー」販売を開始。10月には、より学生が買いやすい小さいサイズのクッキー（150円）を開発、立て看板などで学内に周知しながら継続して販売している。



9/16（金）～9/18（日）

学生6名と教職員2名が熊本を訪問した。熊本学園大学との合同ワークショップや益城町の仮設住宅でのサロン活動（熊本学園大学の学生さんの取り組みに参加）のほか、熊本における震災被害と復興のようすについて、理解を深めた。

〔参加者〕

学生：6名（男性2名、女性4名）

参加学生の所属・・・ボランティアセンター学生事務局長、
「Do for Smile@東日本」プロジェクト 陸前高田チーム（熊本出身）、
「Do for Smile@東日本」プロジェクト 大槌・吉里吉里チーム、地域活動、⁷¹Wゼミ（社会福祉学科生を中心とした自主グループ。「明学防災プロジェクト」に取り組む）
2名

引率：2名（ボランティアセンター運営委員 原田勝広教授、市川享子ボランティアコーディネーター）



〔活動スケジュール〕

9/16（金）＜1日目＞

午前 ◇ 熊本空港着、益城町の視察

午後 ◇ 熊本学園大学とのワークショップ



- ・熊本学園大学における震災時の取り組み
- ・明治学院大学ボランティアセンターからプレゼンテーション
- ・ディスカッション「学生が地域に寄り添う意味」

9/17 (土) <2日目>

- 午前 ◇旧中村病院、ジェーンズ邸
◇社会福祉法人くまもと障害者労働センター（おれんじ村）
◇被災地障害者センターくまもと

- 午後 ◇益城町
・益城町の現状と課題
・益城町議会議員のお話

9/18 (日) <3日目>

- 午前 ◇ユニットハウス村
◇おひさまカフェ
夜 ◇熊本空港発、帰路へ



※学生からの報告はボランティアセンターウェブサイト参照：

http://www.meijigakuin.ac.jp/volunteer/news/160916-0918_kumamoto-houkoku.html



11/12 (土)

明治学院礼拝堂献堂100周年記念礼拝にて、公的支援が届かない熊本城周辺の個人所有の建築物復興を目指す「くまもと新町古町復興プロジェクト」への募金を学生が呼びかけた。

12/5 (月)にはプロジェクトのみなさんが白金キャンパスに来校、直接支援金をお渡しすることができた。